

# 第6次藤枝市総合計画【後期計画】

Fujieda City Comprehensive for 2030



## “幸せになるまち”藤枝づくり ～まち・自然・文化と共生 未来へ飛躍～

### 医療体制の充実・強化

#### 安定した地域医療体制づくり

誰もがいつでも住み慣れた地域で身近に適切な医療を受けられるよう、総合診療体制の構築と病診連携の更なる体制強化、近隣市町の医療機関との広域連携を強化し、安定した地域医療体制を構築します。



市民の命と  
安全・安心を守る



JR藤枝駅前繁華街特別警戒活動

### 防犯対策の推進

#### 多様な連携による見守りの推進

地域全体が一体となって犯罪のないまちづくりに取り組むため、市、警察、市民、自治体・企業等の多様な主体が連携した市民総ぐるみの見守り活動を推進します。

# 高齢者支援と社会参画の推進

## 認知症とともに生きる共創のまちづくりの推進

誰もが安心して認知症とともに生きることができるよう、一人一人が個性と能力を発揮して、新たな発想や取り組み、仕組みを創出する“共創”により、医療・福祉に加え、教育や産業、地域活動など、暮らしに関わるさまざまな分野において、多様な世代が認知症について学び合う機会の創出や認知症の理解促進等を図ります。



# 子育て支援の充実

## 子育て環境の充実

子育て中の親の不安を軽減し、地域で安心して子育てができる環境をつくるため、子育てに関する相談や親子の交流の場の提供、子育て情報の発信、多様な世代との交流の場づくりなど、さまざまな手法により子育て環境の充実を図ります。



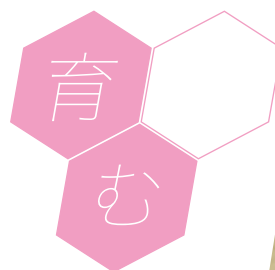
市  
民  
の  
健  
康  
で  
暮  
ら  
し  
を  
豊  
か  
な  
実  
現



# 安心な交通基盤づくり

## 地域をつなぐ交通インフラの充実

市民の日常生活における交通手段を確保するため、地域内での移動サービスの確立や路線バスの効率的な運行、乗合タクシーなどの活用、交通インフラの円滑な接続などにより、交通体系の充実を図ります。



こ  
ど  
も  
が  
健  
や  
か  
に  
学  
び  
、  
育  
つ



# 学校教育の充実

## 小中一貫教育と幼保こ小連携の推進

義務教育9年間を通して、共通した理念のもとでこどもの健やかな成長を支援するため、系統的な指導計画を編成・実践する「縦の小中一貫教育」と、家庭・地域・学校などが連携・協働する「横の小中一貫教育」を通して、中学入学に対する不安の解消や社会性・学力の向上を目指します。また、幼児期から小学校への架け橋期の充実を図るため、幼稚園・保育園・認定こども園と小学校が連携した架け橋プログラムに取り組みます。

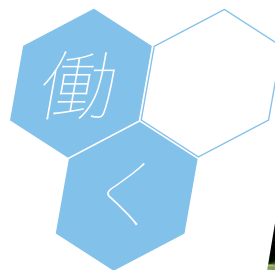
# エコミックガーデニングの推進

## 地元企業の成長支援

地元企業の持続的な成長と経営安定化のため、相談支援拠点「エフドア」や産学官金の支援機関との連携を強化するとともに、市内企業の生産性の向上、中小企業の事業承継対策および強靱化など、地元企業の成長を促す各種施策を展開します。



相談支援拠点「エフドア」



力強い地域産業を  
育み、安心して  
働ける



## 農林業の振興

### オーガニックシティの推進

豊かな自然を守り、人と自然が共生するまちを創出するため、環境に配慮した持続可能な有機農業を地域ぐるみで推進するとともに、ブランド化に向けた取り組みも進めます。

## 文化の振興

### 文化を担い支える人材の育成

小中学校などと連携したアウトリーチ事業の推進により、子どもたちが上質な芸術に出会う機会を拡充するとともに、市民による企画運営の文化事業の推進とプロアーティストなどの若手芸術家などの活動支援を図り、文化を担い支える人づくりを進めます。



音楽家と学生の交流



魅力と活力、  
持続力がある、  
地域力が  
つながる



滞在型レコーディングスタジオ「Music inn Fujieda」

## 多彩な拠点づくり

### 新たな核となる交流拠点の形成

旧市街地エリアの総合的な再生や食と農アンテナエリアの形成などのまちづくりを推進するため、地域資源を最大限に生かし、多様な人々が暮らし回遊する環境づくりを進めます。

# 地球温暖化対策の推進

## 地球環境を守る暮らしとライフスタイルの実現

市民の暮らしや地域の活動における環境負荷を減らすため、「デコ活」や環境マネジメントの普及などを通じて、ライフスタイルや働き方、移動のあり方を見直し、地域資源を生かした持続可能な暮らしの実現に取り組みます。



豊かな自然環境と  
資源を守り、環境と  
次代につながる



## 資源循環の推進

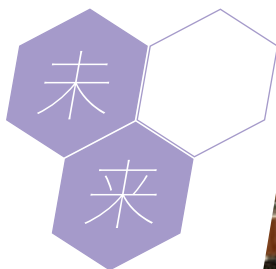
### もったいない運動の推進、資源の有効利用

ごみの削減を図り、環境への負荷を軽減した独自の地域循環共生圏を確立するため、「もったいない」をキーワードに、6R(リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ・リターン・リカバー)を進め、限られた資源の有効活用や廃棄物の適正な収集・処理など、資源循環を推進します。

## 「選ばれるまち」づくりの推進

### 移住・定住の推進

地域の資源や本市の魅力ある施策などの強みを生かすとともに、移住者の視点から掘り起こされた潜在的なまちの魅力や移住の受け皿となる住環境、移住のサポート体制を充実させるとともに、ターゲットに向けた戦略的な情報発信を進め、定住人口の拡大と関係人口の創出を図ります。



夢と希望にあふれ、  
未来につながる



## 広域連携の推進

### 広域都市交流の推進

市民の主体的な交流の促進と産業・文化・スポーツなどの振興を図るため、国内外のそれぞれの特徴に合わせた都市間交流などを推進し、新たな価値の創出につなげていきます。